

## 1. 知事の政治姿勢について

### (2) 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業

西鉄天神大牟田線連続立体交差事業についてお聞きします。

本事業は、平成 15 年度から事業に着手し、令和 2 年度には、高架切り替え、令和 3 年度に事業終了の計画でありました。ところが、今月に入り、西日本鉄道から相当な期間の工期延長が必要になったとして事業計画変更の申し出があったと聞いています。

この事業は、福岡市区間と併せて約 5.2 キロ連続立体交差事業であり、人口増加に伴い各駅周辺の慢性的な渋滞緩和に地域住民の皆さんにとっては、工事完成を待ち望んでいる事業です。

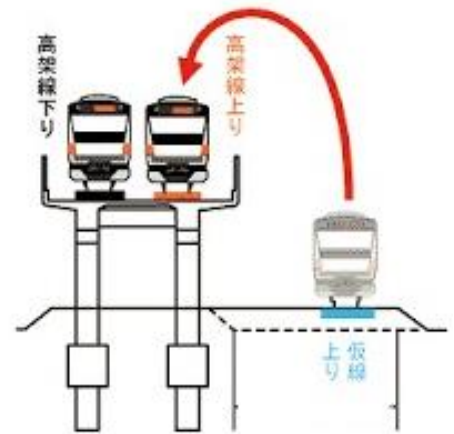
例えば、県道那珂川大野城線での踏切においては、朝夕の渋滞が激しく、ピーク時には 1 キロほどの渋滞になっています。

また工事中の通行規制などにより、特に周辺の小中学生や高齢者が危険にさらされている状況である。地元では高架下を利用した街づくりの話も盛り上がっていると聞いており、一日も早く完成を県民は望んでいます。

そこで知事にお尋ねします。この事業は、西鉄とどのように進めているのか。次に、事業計画検証委員会を設置したと聞いているので、その件で伺います。

記者会見では、「10 月末に申し出があったわけですが、その変更理由の具体的な内容とか、その辺の詳細がまだよく分からないので、検証委員会を立ち上げる」とのことありますが、何が原因で延びるということも何も分からないのかと疑問が生じます。県民生活に対する影響は大きいので、西鉄からの申し出の経緯と検証委員会でどういうことを議論していくのか、もっと詳しく、県民の皆様にしっかり説明すべきではないか。お答えください。

最後に、地元対応と今後の取り組みをお聞きします。周辺住民の方への説明責任は、行政なのか西鉄なのか誰が行うのか。周辺住民へは早急に説明を行う必要があると考えます。またいつ説明をされるのか。お答えください。



### 【知事の答弁】

この事業は、福岡県の事業区間である春日原から下大利までの約 3.3km の鉄道を高架化することにより、交通渋滞の緩和や踏切事故の解消と、市街地の一体化による都市の活性化を図るため、令和 3 年度の完成を目標に実施しているものです。

西鉄との間で、国の通知等で示された内容の協定を締結し、鉄道と交差する道路等については県が、鉄道施設については西鉄が、それぞれ設計と工事及びその施工管理を行っています。

今年 7 月末に西鉄から、「今年度に入り旧春日原駅舎の基礎の撤去を始めたところ、6 月に想定外のコンクリートと杭が確認されたため、高架への切替えが遅れる」という一報があったが、口頭であり、具体的な説明もなかった。

このため、県からは、再三にわたり、詳細な説明を求めるとともに、予定どおりの工期に間に合わせるべく検討を行うよう申し入れました。

これを受けて、西鉄は、コンクリート等の全体量の調査とその撤去が全工程に及ぼす影響、工期短縮の方法について検討を行い、その結果、10 月末に工期の変更が必要として事業計画変更の申し出を行ったものです。

検証委員会では、まずは西鉄から、事業の遅延理由と期間について、明確な説明をしてもらう必要があると考えています。

その上で、安全かつ効率的に工事を進めることを前提に、

- ① 工期変更の理由と期間の合理性、
- ② 可能な限り工期を短縮するための施工手順や施工方法の見直し、
- ③ 高架下を利用した沿線のまちづくり事業等への影響を最小限にするための工夫などについて、しっかり議論していくこととしています。

### 【知事への要望】

西鉄の連続立体交差事業の件ですが、福岡県と西鉄が中心となって、「検証委員会」を立ち上げると聞いています。博多区、福岡市も連続立体交差事業ですから、雑餉隈駅も連続立体交差で、事業者は福岡市かも知れませんが、この連続立体交差事業にあわせ、鉄道交差線とほぼ同じ高さに合った、筑紫通りの跨線橋（こせんきょう）を解体しています。そして、今年の二月から、仮設の踏切を設置し平面交差道路に切り替えました。

ここは大変に混み合って、朝夕、大渋滞を起こしている状況です。

迂回通行の関係で、地元の三筑小学校、中学校の子どもたちも非常に危険にさらされている状況にあります。

周辺住民に対する今後の説明というのがありましたが、これは、事業者が福岡市とは言え、福岡県も事業の説明、遅延の説明、具体的な今後の計画の説明も含めて、是非、周辺住民の方に、福岡県も乗り込んで、やって頂きたいことを要望致します。